

授業科目	健康情報処理実習				実務家教員担当科目	-					
単位	1.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期				
担当教員	若菜 啓孝										
授業概要	この実習では、アンケート調査の一連の手順、具体的には、食に関わるアンケート調査票の作成、実施、集計、分析、報告書の作成を通して、栄養学研究または、実践活動をする上で必要な統計的手法および得られた健康情報の表現・伝達方法について学びます。										
授業形態	講義・実習			授業方法	ICT 活用による講義（反転授業含む）・演習						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. アンケート調査の一連の流れを説明できる。（DP-11） 2. データの種類について説明できる。（DP1-1） 3. 仮説検定について説明できる。（DP1-1） 4. 栄養学研究で得られたデータについて、適切な統計的処理方法を用い説明できる。（DP2-1） 5. 健康情報に関し、分かりやすく表現・伝達できる。（DP5-1） 行動目標全てを達成している。										
理想的レベル	行動目標全てを達成し、かつこれらを応用することができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合（数値）				備考					
試験											
小テスト		40%									
レポート		40%									
発表（口頭、プレゼンテーション）		20%									
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	NT21407J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
1. 「健康情報処理論」で学んだことを振り返る。 2. 指定されたオンライン動画コンテンツを閲覧し理解を深める。 3. 授業での課題提出および操作復習を行う。										0	
授業計画											
第1回	テーマ：オリエンテーション・調査データの整理 食事調査の種類 データの種類、データ分布の表現法、アンケート調査方法手順										

第2回	テーマ：文献検索 文献データベース活用法、AI 活用方法 栄養学研究デザインと科学的根拠
第3回	テーマ：データの統計処理 オンラインを利用したアンケート調査方法 度数分布表とヒストグラム、箱ヒゲ図
第4回	テーマ：2つのデータの関係(記述統計のまとめ) 散布図、相関係数、回帰直線 エネルギー残差法
第5回	テーマ：確率と確率分布および母集団平均の推定 確率分布、離散分布、連続分布 母集団と標本、母平均の区間推定
第6回	テーマ：仮説検定 2群の平均値の差の検定、対応のある平均値の差の検定 分析ツールおよびその他のアドインツールの活用
第7回	テーマ：仮説検定 2群の平均値の差の検定、対応のない平均値の差の検定 分析ツールおよびその他のアドインツールの活用
第8回	テーマ：仮説検定 適合度・独立性の検定、クロス集計 分析ツールおよびその他のアドインツールの活用
第9回	テーマ：総合演習
第10回	テーマ：食生活に関するアンケート調査 調査方法、調査票、調査データの入力
第11回	調査データの整理（データクリーニング） 公共データ調査、先行研究調査、データ分析、調査報告書の作成
第12回	テーマ：食生活に関する口頭発表準備（班単位） 班分け（5～6名で1班）、テーマ設定 データ分析と考察の方法
第13回	テーマ：食生活をテーマとした口頭発表準備（1） 発表内容の検討、スライドの作成
第14回	テーマ：食生活をテーマとした口頭発表準備（2） 発表内容の検討、スライドの作成

第 15 回	<p>テーマ：食生活をテーマとした口頭発表 口頭発表および相互評価</p>
テキスト	授業時に配布
<p>参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● Excel によるアンケート分析（東京図書） ● 疫学・健康統計学（建帛社） ● 管理栄養士・栄養士のための統計処理入門（建帛社） ● よくわかる統計学 介護福祉・栄養管理データ編（東京図書） ● 健康を決める力 ヘルスリテラシー http://www.healthliteracy.jp/
<p>課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>小テストは、配付資料、ノートを参照しながら実施できます。自分で分かり易いノートを作成して臨んで下さい。</p> <p>食生活に関するプレゼンテーションは、5, 6 人の班に分かれて行い、相互評価を行います。</p>
<p>学生へのメッセージ・コメント</p>	<p>高校で学ぶ記述統計の知識に加え、「健康情報処理論」で学んだ知識、「情報処理基礎」で学ぶ Office 系ソフト（Word・Excel・Powerpoint）の操作を前提にしています。</p> <p>まず自分で課題に取り組み、分からないことはクラスメイトと協力し合って解決する、ネットワーク上の情報を活用など、自己研鑽に努めてください。</p> <p>また、毎回の演習記録（ポートフォリオ）を整理・保存し、今後も利活用できるようにしてください。</p>